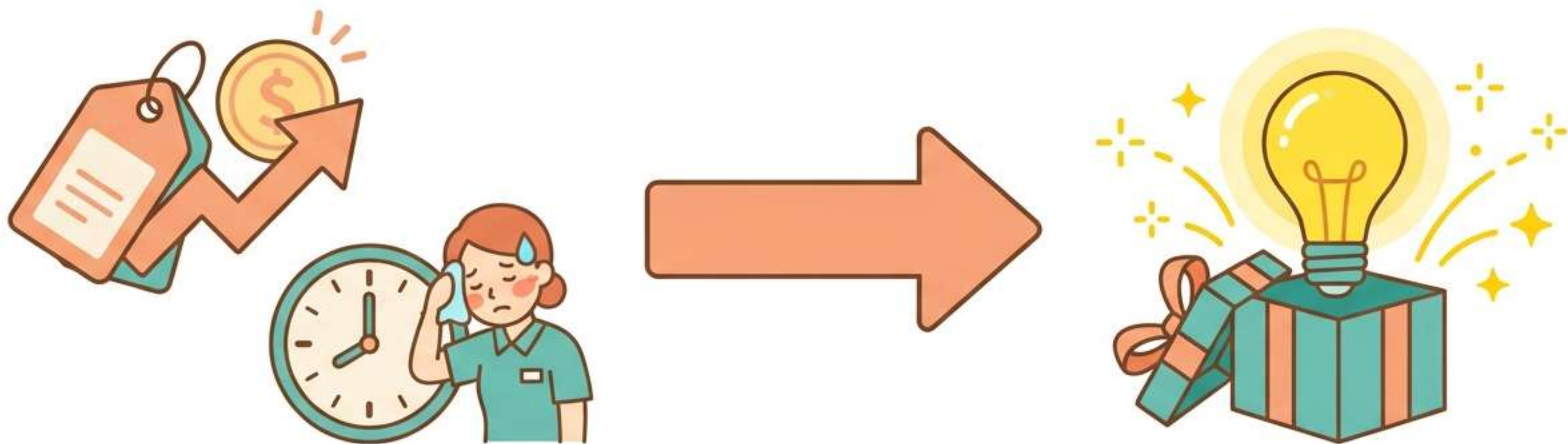


令和8年度版：医療・介護向け交付金 運営ルールの主な見直しポイント

現場を支える新しい支援策の全体像



なぜ今、ルールが変わるの？



昨今の「建築費や物価の高騰」と「深刻な人手不足」に対応し、現場の負担を減らすため、支援内容が大きくアップデートされました。

今回の改正、2つの大きな柱



柱1：施設整備の支援

柱2：人材確保の支援

【柱1】 施設整備：物価上昇への対応



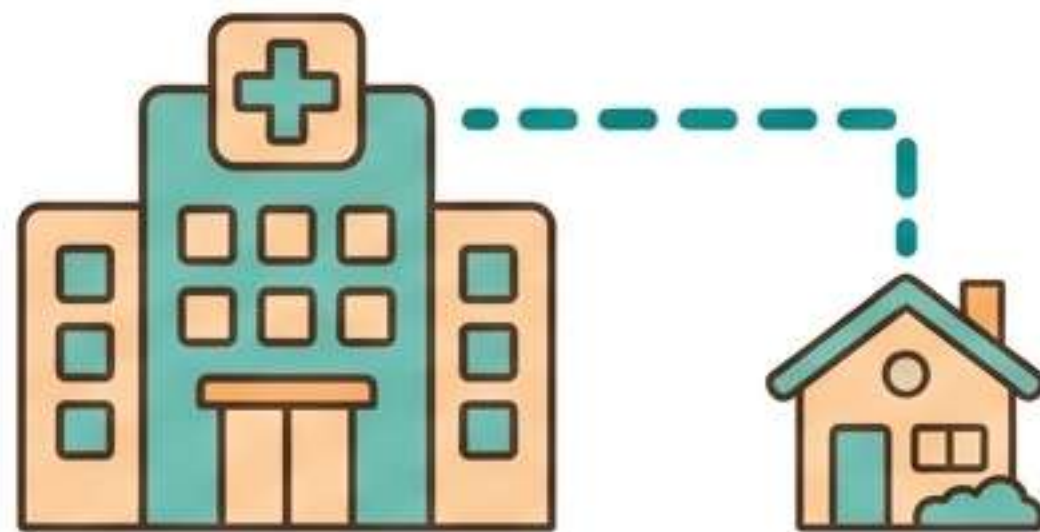
配分基礎単価が +7.7% 上げられます。

【柱2】人材確保：新しい支援メニューが誕生



タスクシェア・タスクシフト推進

業務を切り分け、
多様な人材と連携。



訪問介護のサテライト(出張所)設置

人口減少地域でも訪問
介護の拠点を維持。

【柱2】人材確保：柔軟なサービスと働き方を応援



通所介護の「訪問機能」追加

**施設に通えない方へ、
柔軟にサービスを提供。**



多様な働き方・常勤化の導入

**兼業・副業、週休三日制など、
新しい働き方を支援。**

変化に対応できる、持続可能な現場へ



「ハコ」と「ヒト」の両面からサポートが強化されました。新しい支援支援策を活用して、より良いケアを提供できる環境づくりを進めましょう。